

語り始めたご本人に学ぶ
～真の医療福祉倫理をもとめて～
(現場に学ぶ医療福祉倫理)

聴くこと、そして、発信すること



国際医療福祉大学大学院教授・元朝日新聞論説委員
福祉と医療・現場と政策をつなぐ「えにし」ネット
志の縁結び係&小間使い

ゆき さん

現場に学ぶ医療福祉倫理って？

- 机上の倫理ではなく、実践の倫理
- 臨床の中の生きた倫理
- 日常の中の非倫理(理不尽)に気付くこと
- 変えるために 戦略を考えること
- 実践すること
- 壁につきあたって、また、考え、実践すること
- 想像力
- 度胸
- その生きたお手本が毎回登場



10月30日のゲストのみなさん



山瀬 & まおさん、めでたく結婚式



9 日経ニッポン 経済版 2011年(平成23年)5月27日(金)

の 明 白
私の社会生活29歳

政策誤らせる魔術的言葉

大熊 由紀子

国民負担率を支え合い率に

「国民負担率」という言葉は、政府の財政政策を評価する上で重要な指標の一つである。しかし、この言葉の定義や計算方法には、多くの疑問や誤解が生じている。特に、国民負担率を「社会保険料率」として誤用していることが多く、これは国民の負担感を正確に反映していない。むしろ、政府の政策を誤らせる「魔術的言葉」として、国民の負担感を軽減させるための手段として利用されているように見える。この問題を解決するためには、国民負担率の定義を明確にし、国民の負担感を正確に反映させる必要がある。また、政府の財政政策を評価する際には、国民負担率だけでなく、他の指標も考慮する必要がある。只有这样、国民の負担感を軽減し、社会の持続可能性を高めることができる。

発信するとき、聞きとるとき、大切な「言葉」

ワクチンという言葉の魔術

Fri, 26 Feb 2010 08:50:05 +0900
From: ゆき <yuki@spa.nifty.com>
To: fmj2@yahoo.co.jp
Subject: [fmj2][00649] バランスの感覚→子宮ガンワクチンのことで

松永貞一さま、糸和彦さま、みなさま
ゆき@元新聞記者モードです(*^^*)

昔々、子宮頸ガンがパートナーからウイルスでうつることを
社説で紹介したことがあり、
家庭争議がおこらないように苦勞して書いたおぼえがあります。

最近、
HPVワクチンの早期承認と公費負担の実現を図る
「子宮頸ガン征圧をめざす専門家会議」
<http://cczero.jp/>
がスタートし、
モナコの学会にジャーナリストたちが招待されました。

>僕個人は、ワクチンしておけば確実に死ななかったのに、しなかったために死
>んだ子は、何十人と看取っています。一方、ワクチンで障害を受けたと思われる
>子も数人、障害者の専門病院で対応したことがあります。数でいうと死んだ子の
>ほうが、障害を受けた子より多いかな？？ただ、これは僕自身の個人的経験な
>ので、もっと大きな母集団の数字で見る必要があると思います。

 $\geq$

子宮ガンワクチンの場合は、
松永ドクターご経験のような感染症と違って
早期発見・早期治療で死を免れることができるので、
「ワクチンしておけば確実に死ななかったのに、してなかったために死んだ」
という種類の感染症と少し事情が違うとおもうので、
みなさまは、どのようにご判断、ご評価なさるでしょうか？

では、また (^-^)/~~~~~

$$\begin{array}{cc} () & \\ w & () \\ () w & w \\ w w & w \end{array}$$

大熊由紀子 yuki@spa.nifty.com
福祉と医療・現場と政策をつなぐ「えにし」ネット
<http://www.yuki-enishi.com/>

[illegible]

そして、おそれていたことが起こりました。

その背後に

その背後に

「**とんとん拍子の公費助成**
定期結核化の青龍潭」

野中大樹

子宮頸がん予防ワクチンの 主役はロビイストと PR会社か

「因果関係が証明されていない」WHOでも懸念されている「子宮頸がん予防ワクチン」の副作用が懸念されている。これに「積極的勧奨の一時中止」を求め、厚生労働省が検討中だ。そんな中、製薬会社とロビイストが「ワクチン」をめぐって世論形成をはたしていた事実が浮き彫りになってきた。

一九八〇年、東京保健局の調査で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

ワクチン・スクリューイン（左）と
メルクの子宮頸がんワクチン（右）。

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

子宮頸がんは「癌」の一種で、

発信の機会を奪われた 認知症の人々

**日本の精神病院のリーダー
が経営する
精神病院の認知症棟
のテイルーム
入れ歯も、カーテンも
はずされています。**

根底に「患者」という見方



誇りと役割のノーマライゼーション

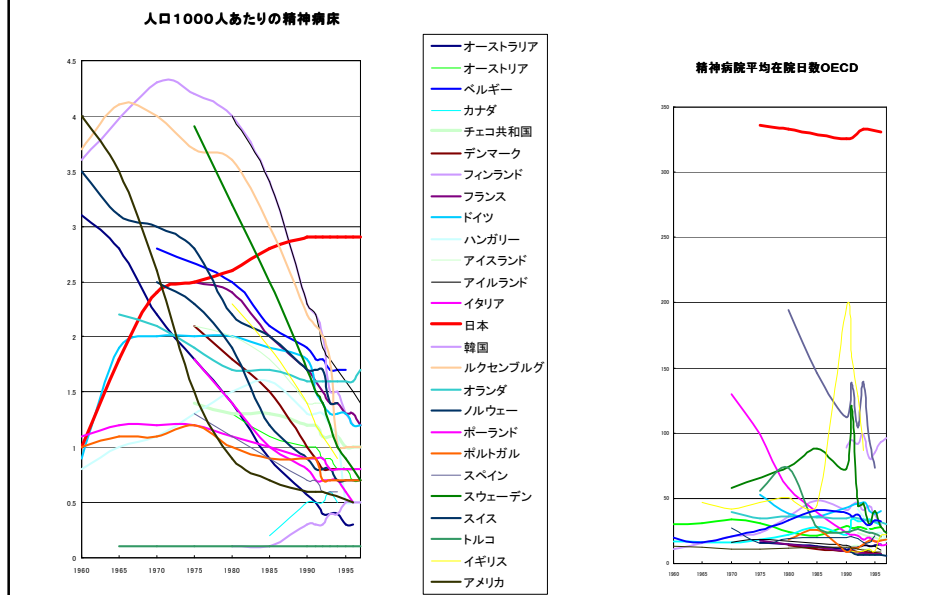
愛とぬくもりのノーマライゼーション

住食衣医とコミュニケーションのノーマライゼーション

**人生の質（QOL）の3重構造
（ウツサラ大ラッシュ・シェボン+ゆき）**



精神病院在院日数国際比較



きょうのゲストのお一人、藤原瑠美さん(右から3番目)は認知症の人々に代わって発信
日本医学ジャーナリスト協会賞優秀賞を受賞



でんぐりがえしプロジェクトを
この大学院の公開講義で挑戦
医学書院が本にしてくださいました(*^ー^*)



第8回 医療の質・安全学会 学術集会 The 8th Annual Congress of Japanese Society for Quality and Safety in Healthcare

あたらしい医療のかたち賞

もうお一人のゲスト、鈴木信行さんは
「新しい医療のかたち賞」患者部門で受賞



チームで良くする医療の質、
質を支える安全学
～現場と社会の協働促進

【会期】
2013年
11月23日(土)～24日(日)

【会長】
清水 利夫
(国立国際医療研究センター病院 副院長 外科)

【会場】
東京ファッションタウンビル
ビッグサイトTFTホール
(東京都江東区有明)

【演題募集期間】
2013年 5月20日(月)～6月30日(日)
7月16日(火)にて終了しました

患医ねっと

～～更新履歴はこちら～～

メニュー

私の社会保険論	2012/05/13	陽しき扶養者の部屋-国内篇	2012/05/02
医療福祉と財源の部屋	2010/08/23	陽しき扶養者の部屋-海外篇	2011/08/18
高齢福祉と高齢者の部屋	2009/05/07	被災した方々応援するために	2012/03/19
無語-介護保険	2010/08/13	世直しの人間科学	2008/02/02
福祉人材/報酬・待遇の部屋	2010/02/18	100のチェックポイント	2005/01/02
選んだ場所を誇りをもって	2012/01/30	少子化・子育て・教育の部屋	2009/08/07
福祉部屋の部屋	2010/10/24	千葉・あいさず	2008/06/23
ホスピスケアの部屋	2005/05/20	倫理と変革の部屋	2012/05/27
福祉の町・松田県松田町が「べり」	2012/02/20	医療福祉ジャーナリズム分野	2010/12/19
認知症ケアの部屋	2011/09/18	メディアの部屋	2010/07/05
自立生活の部屋	2007/02/02	メディアと変革の部屋	2012/02/20
福祉用語の部屋	2009/12/08	写真集から(pictures)	2002/01/01
福祉医療福祉の部屋	2011/03/28	日からウロコのメッセージの部屋	2010/05/16
障害福祉政策・福祉の部屋	2006/05/20	シンポジウムの部屋	2011/08/05
インフォームド・コンセントの部屋	2007/07/19	"読書"資料の部屋	2005/12/02
医療者と医療の質の部屋	2012/05/13	関係者関係なくするための	2007/05/13
たばこの部屋	2009/12/04	海外福祉雑誌の部屋	2011/08/18
くすりの部屋	2009/08/23	平論・評論の部屋	2010/06/13
医療事故から学ぶ部屋	2011/02/07	世界とくわれば	
患者体験者と道徳に学ぶ部屋	2007/11/20	らうんじ・えにし	2011/12/31
緑きえん会ことばはじめ 2001	2002/02/22	えにしの本のエッセンス	2011/01/24
ことばもまた、緑きえん会02-12	2012/05/27	ゆきの部屋	2010/05/16
えにし・イン・連載	2004/04/03	えにしの人々の部屋にリンク	
		えにしの人々のページにリンク	2011/01/11
		お役に立ちそうなリンク	

毎回の講義については
倫理と変革の部屋にアップしています。

このページは、<http://www.yuki-enishi.com/> などとややこしく入力しなくても、
「ゆきえにし」で検索してくだると、
先頭に出てきます o(^o) (^o) (^o)

317404

えにしのページへようこそo(^o) (^o) (^o)

『えにし』の名の由来は、2001年5月、プレスセンターで開いていた
『新たな福祉(えにし)の形』に由来します。



一人のジャーナリストと縁が浅いという、
ただ、それだけの縁で集った分野の違う方々の間に、
不思議な、新たな縁が生まれ、広がっていききました。

このホームページが、福祉と医療とまちづくり、
そして、現場と政策の新たな縁の場につながることを願って、
少しずつ内容を充実させてまいります。

時々覗きにきてくださいね！-e-会
ご意見、お問い合わせお待ちしております。
yuki@yuki-enishi.comへどうぞ！

大野由紀子(毎日新聞論議委員→都大ソーシャルサービス論
→国府大看護学大学学長・専攻大学社会福祉学専攻・滋賀県立大学など)

なぜ毎週レポートを書くの？

書かなければ、何もわからぬから、書くのである

(文章の達人、小林秀雄『文学と自分』)

話したり読んだり聞いたりするのと違って

- ①情報を正確に記憶し、伝えられる
- ②考えることを促す、思索を深める効用がある
- ③理解度を点検できる

考えて書くのではなく、書いて考える

コツは、まず書いて、あとで直す(^_-)-☆

締め切りはその週の土曜の24時

ゲスト講師へのお礼状のつもりで。。。.

表題に「レポート」という文字とお名前・仕事・キャンパス

yuki@spa.nifty.comへ

「当選作」には私が関係した次のページの本の中の

お好みのものを贈呈させていただきます(*^—^*)



プレゼント
する本

